

新しいタイプの利尿薬 ～水利尿～

循環器科副部長 水野 広海



平素は病診連携にご協力いただき誠にありがとうございます。

我々循環器科医のみならず幅広く使用されている利尿薬。特に心不全の管理には欠かせないツールの一つです。これまでの利尿薬としてはフロセミド(商品名ラシックス)に代表されるループ利尿薬、サイアザイド系利尿薬、K保持性利尿薬などがありますが、作用機序としては腎尿細管でのNa再吸収を阻害することで“Na利尿”を起こして利尿効果を発揮します。

これに対して昨年、別の機序で利尿効果を示す利尿薬が発売されました。トルバプタム(商品名サムスカ)は腎集合管でのバズプレッシン受容体への拮抗作用を有する薬剤です。バズプレッシンは腎集合管でV2 受容体に作用、水分子を集合管から血管内へ通過するように働きます。トルバプタムはこの受容体に拮抗することにより集合管からの水の再吸収を阻害して水のみを尿中に排泄させるいわば“水利尿”を起こす薬剤です。従来のNa排泄型の利尿薬で起こる低Na血症やGFRの低下をきたさないとされております。

心不全治療においては急性期の短期的な効果は有意な結果が示されておりますが、長期予後についてはEVEREST試験がなされたものの継続投与における長期投与の改善効果は認められませんでした。現時点ではループ利尿薬が無効な心不全で、低Na血症を伴うものが投与の対象となる印象です。また、トルバプタムの注意として、高Na血症を来す可能性が挙げられます。海外での適応は低Na血症です。このため添付文書では投与初日に6時間おきに血清Naの測定を求めています。このため事実上は入院治療で開始する必要がある薬剤となっております。

今年の1月からは長期処方が可能となったため、心不全で入院され、退院以降もトルバプタムの処方が必要な方を先生方へ紹介する可能性も今後増えるかと考えますので宜しくお願い致します。

お知らせ

当院は平成24年2月27日(月)より電子カルテシステムを導入しております。

新システム導入により、院内での診療情報の一元化され、各部門での情報共有ができ、待ち時間短縮などの患者サービスが期待されます。

* 診療情報提供書(兼)受診依頼票と検査事前受付申込書が、一部変更します。出来次第、随時、発送させていただきます。